

「OpenOffice.org マスターへの道 - テンプレートを使いこなす」 参考資料

2007年01月13日

中本崇志

bluedwarf@bpost.plala.or.jp

1 はじめに

1.1 この資料の内容

この資料は、[2007年01月度 LILO Monthly Seminar](#)「OpenOffice.org マスターへの道～テンプレートを使いこなす～」の参考資料です。発表時間内では説明しきれない詳細な操作手順、より便利な操作方法を説明します。また、参考になる URL や拡張機能のダウンロードページ URL を示してあるので、家に帰ってからブラウザなどでそれらの URL を開いてみてください。

1.2 著作権とライセンスについて

この資料の原作者は中本崇志です。

この作品は、クリエイティブ・コモンズの表示-継承 2.1 日本ライセンスの下でライセンスされています。この使用許諾条件を見るには、

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/2.1/jp/>

をチェックするか、クリエイティブ・コモンズに郵便にてお問い合わせください。住所は: 559 Nathan Abbott Way, Stanford, California 94305, USA です。

1.3 OpenOffice.org のバージョンについて

この資料では、OpenOffice.org のバージョンは 2.1 を用いて解説しています。UI 表記や操作方法がその他のバージョンとは異なるかもしれませんのでご注意ください。また、OpenOffice.org 2.0.4 と 2.1 では UI の表記が一部異なることが分かっていますので、分かっている範囲で注釈はつけてあります。

2 テンプレートの作り方 と使い方

2.1 テンプレート機能の有効範囲

テンプレート機能は、Writer(ワードプロセッサ)、Calc(表計算)、Impress(プレゼンテーション)、Draw(図形描画)で利用可能です。また、テンプレートに関する操作方法は、これらの4つのアプリケーションで共通です。

Math(数式エディタ)や Base(データベース)にはテンプレートの機能はありません。

2.2 テンプレートの作り方

普通のドキュメントと全く同じように作っておけばよいです。テンプレートとしては、フォントやページの余白などを設定しておき、定型文を入力しておくとう便利です。

2.3 テンプレートの保存の仕方

保存するときに、テンプレートファイルとして保存しなければいけません。

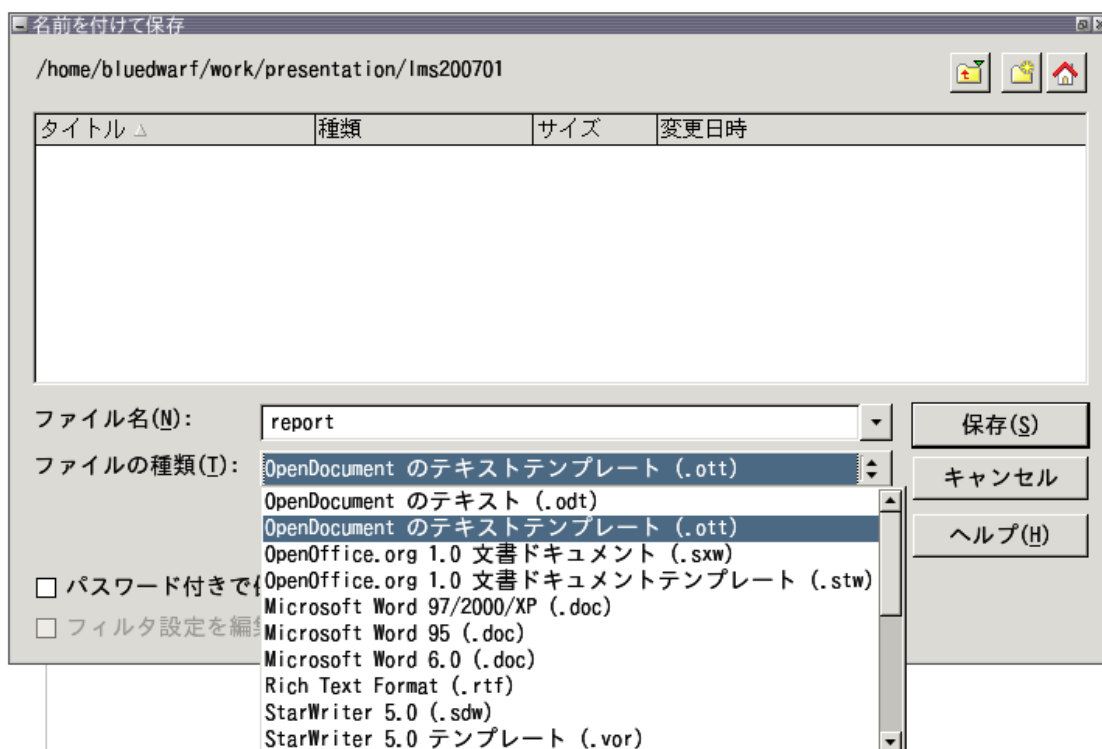


図 1: テンプレートとして保存

2.4 テンプレート の使い方

保存したテンプレートファイルを普通に開くだけです。その際に、「無題 n」として開かれる(新規作成に相当する)ので間違ってテンプレートファイルを上書きしてしまう心配がなくなります。

2.5 テンプレート のインポート

テンプレートをインポートしておくとしだけテンプレートの扱いが楽になります。また、インポートしておかないとテンプレートに関する機能の一部(標準テンプレートの設定など)が使えません。ぜひ、インポートしておきましょう。

1. メニューから [ファイル] - [新規作成] - [テンプレートとドキュメント] を選択します。「テンプレートとドキュメント」ダイアログが表示されます。(図 2)
2. 「テンプレートとドキュメント」ダイアログにて、[管理] ボタンをクリックします。「ドキュメントテンプレートの管理」ダイアログが表示されます。(図 3)
※メニューから [ファイル] - [ドキュメントテンプレート] - [管理] を選択しても同じダイアログが表示されます。
3. 「ドキュメントテンプレートの管理」ダイアログにて、左側のリストの中から適当なフォルダ(「自分のテンプレート」を選択するのがおすすめ)を右クリックします。(図 4)
4. [テンプレートのインポート] を選択します。「開く」ダイアログが表示されます。
5. ファイルダイアログにてインポートしたいテンプレートを選択し、[開く] ボタンをクリックします。すると、テンプレートが追加されます。

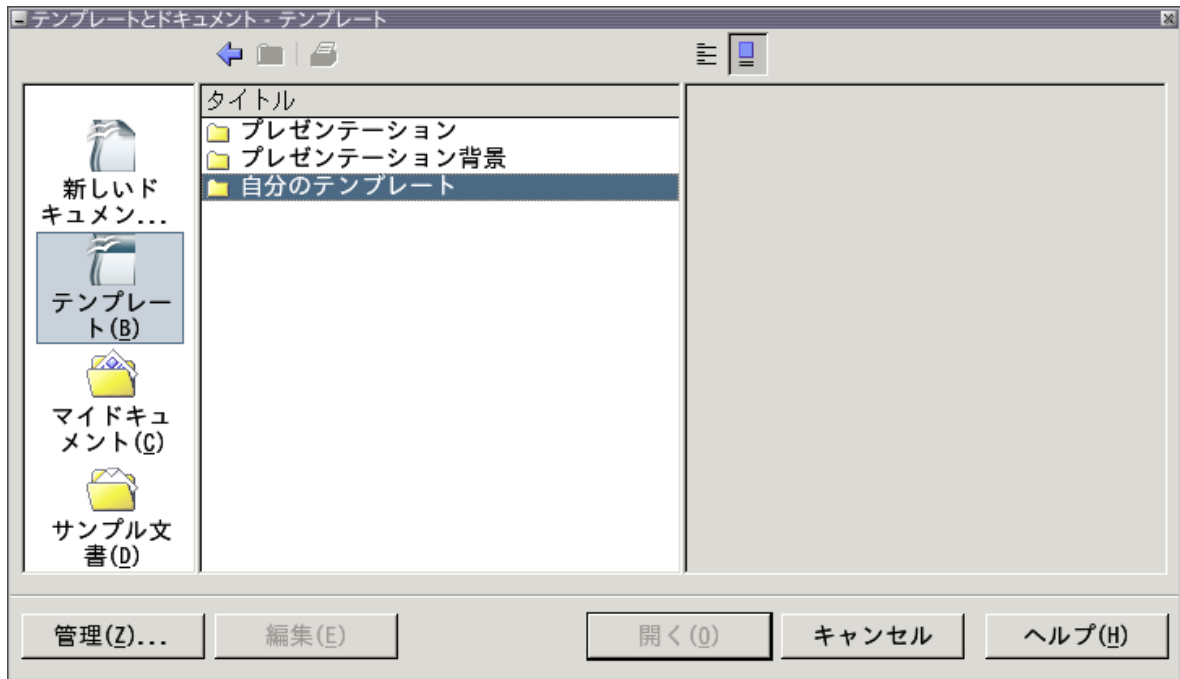


図 2: 「テンプレートとドキュメント」ダイアログ

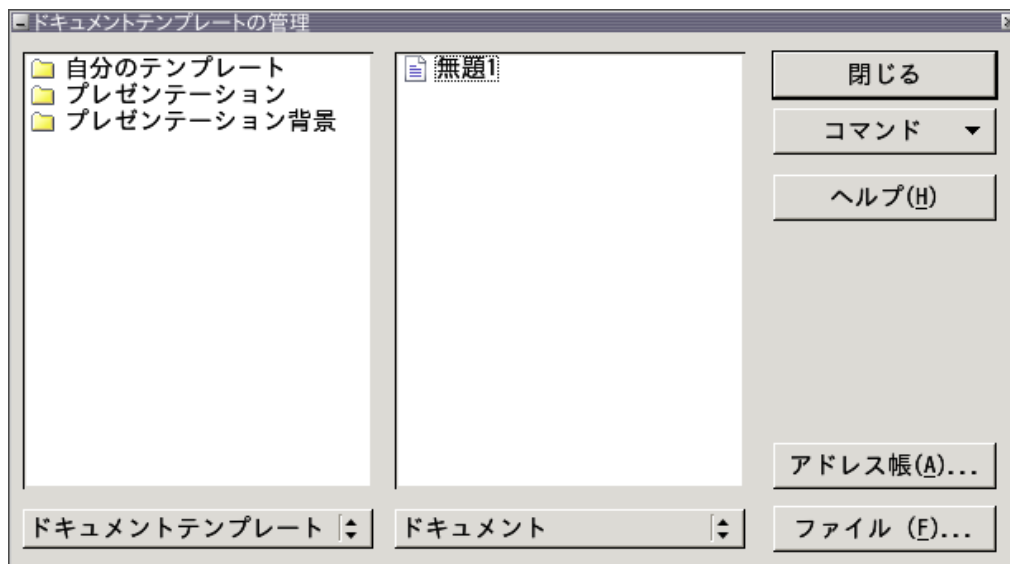


図 3: 「ドキュメントテンプレートの管理」ダイアログ

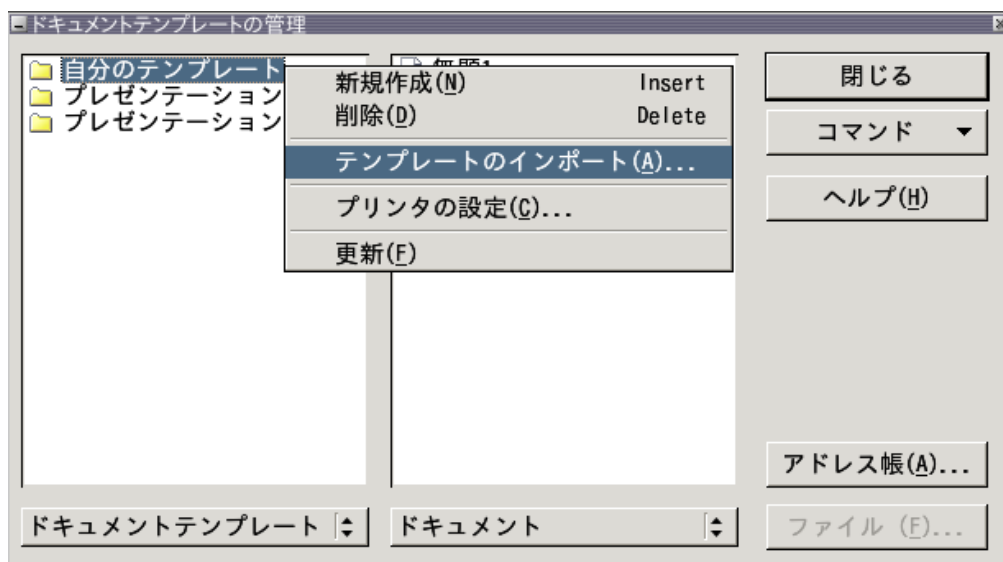


図 4: 「テンプレートのインポート」を選択するところ

2.6 Tips: 編集中のドキュメントをテンプレートとしてインポートする

ここまでの手順ではテンプレートをインポートするために、一度テンプレートファイルとして保存し、それをインポートするという方法をとってきました。しかしながら、今編集中のドキュメントをそのままテンプレートとしてインポートすることができるので、その方法を以下に説明します。

1. テンプレートとしてインポートするドキュメントを開いておきます。
2. [ファイル] - [ドキュメントテンプレート] - [保存] を選択します。「ドキュメントテンプレート」ダイアログが表示されます。
3. 左側の [範囲] リストの中からテンプレートを保存するフォルダ名を選択します。(「自分のテンプレート」を選択するのがおすすめ)
4. [新しいドキュメントテンプレート] の直下にテンプレートの名前を入力して [OK] ボタンをクリックします。

すると、編集中心だったドキュメントがそのままテンプレートとしてインポートされます。

2.7 Tips: テンプレートの表示名を変更する

インポートしたテンプレートがダイアログに表示される際には、デフォルトでファイル名が表示されます。マルチバイト文字が許されないような環境で使う場合にはこれでは不便です。しかし、タイトルをあらかじめ設定してあるテンプレートの場合には、そちらが優先的に表示されるので、ファイル名とは異なった名前を表示したい場合には、以下の手順にしたがってタイトルを設定してください。

1. タイトルを設定するドキュメント/テンプレートをあらかじめ開いておきます。
2. メニューから [ファイル] - [プロパティ] を選択します。「プロパティ」ダイアログが表示されます。
3. 「プロパティ」ダイアログの [概要] タブをクリックします。
4. [タイトル] 欄にタイトルを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

これでタイトルが設定されます。このドキュメントをテンプレートとして保存し、インポートすれば、このテンプレートの表示名は [タイトル] 欄に入力した文字列になります。

2.8 インポートしたテンプレートを使う

1. メニューから [ファイル] - [新規作成] - [テンプレートとドキュメント] を選択します。「テン

プレートとドキュメント」ダイアログが表示されます。

2. 左側のアイコンリストの中から [テンプレート] のアイコンをクリックします。
3. 「テンプレートとドキュメント」ダイアログの真ん中のリストの中からインポート先のフォルダ(例えば「自分のテンプレート」)をダブルクリックします。そのフォルダにインポートされたテンプレートが一覧表示されます。(図 5)
4. インポートしたテンプレートを選択し、[開く] ボタンをクリックします。

これで、インポートしたテンプレートを元に新しいファイルが「無題 n」として新規作成されます。

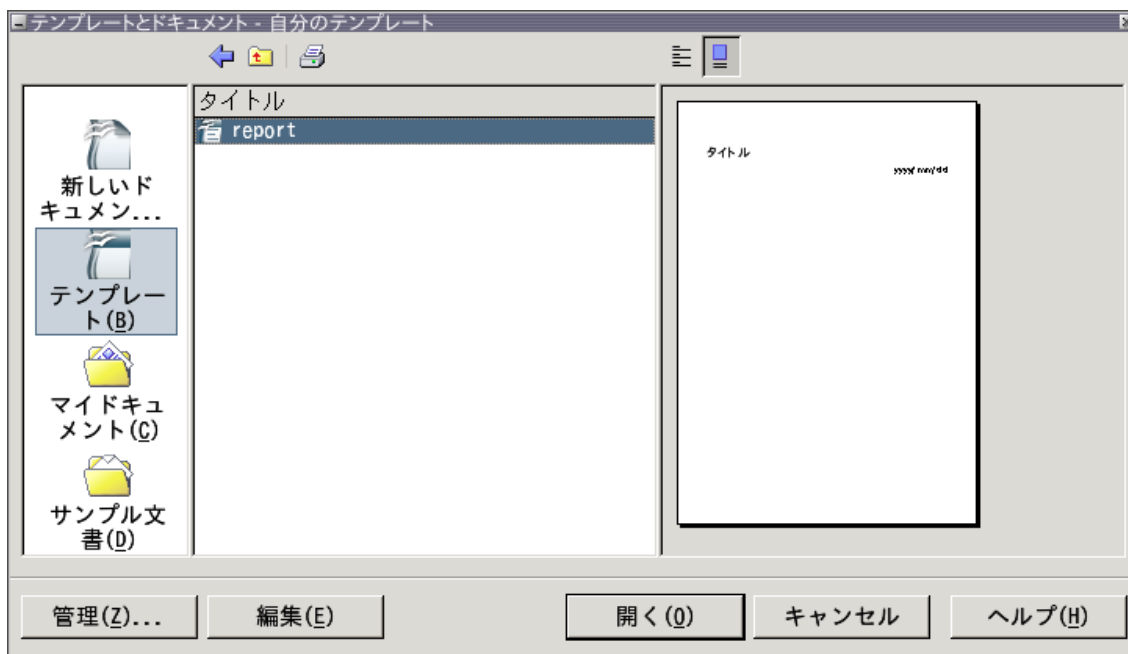




図 5: インポートしたテンプレートのプレビュー表示

ちなみに、「テンプレートとドキュメント」ダイアログの右上にある  ボタンをクリックすると、添付プレートのプレビュー表示になり、 をクリックするとテンプレートに関するメタ情報(タイトルや最終更新日など)が表示されるようになります。

2.9 Tips: 「テンプレートとドキュメント」ダイアログを素早く表示させる

Windows なら「クイック起動」(タスクトレイに常駐しているやつ)から [任意のスタイル] を選択するといきなり「テンプレートとドキュメント」ダイアログが表示されます。わざわざ Writer や Calc を起動しなくても、いきなりテンプレートを指定して作業をはじめることができます。

Linux で KDE か Gnome を使っているのであれば、

- Python OpenOffice.org Quickstarter (Gnome 向け)
<http://trovao.droplinegnome.org/pyoooqs/>
- OpenOffice.org Quickstarter 2 (KDE 向け)
<http://sefaultskde.berlios.de/index.php?content=oooqs2>

といった「クイック起動」みたいなアプレットがあるのですが、スクリーンショットを見る限りでは「テンプレートとドキュメント」ダイアログを表示させるためのメニューはなさそうです。

2.10 インポートしたテンプレートを編集する

テンプレートを作ってみた方がいいものの、もしそのテンプレートが気に入らなかつた場合にはテン

プレートを再編集するとよいでしょう。すでにインポートしてしまったテンプレートは、「テンプレートとドキュメント」ダイアログを使えば簡単に再編集をすることができます。

1. メニューから [ファイル] - [新規作成] - [テンプレートとドキュメント] を選択します。「テンプレートとドキュメント」ダイアログが表示されます。
2. 左側のアイコンリストの中から [テンプレート] のアイコンをクリックします。
3. 「テンプレートとドキュメント」ダイアログの真ん中のリストの中からインポート先のフォルダ(例えば「自分のテンプレート」)をダブルクリックします。そのフォルダにインポートされたテンプレートが一覧表示されます。
4. インポートしたテンプレートを選択し、[編集] ボタンをクリックします。すると、Writer、Calc、Impress、Draw のうちどれか適切なアプリケーションでそのテンプレートファイルが開かれます。
5. テンプレートを編集します。
6. 編集し終わったらそのまま書き保存します。

これで、インポートしたテンプレートの再編集ができます。

2.11 Web からダウンロード可能なテンプレート

Web 上には様々な OpenOffice.org のテンプレートがあります。”OpenOffice.org Template”で検索するといろいろ出てきますが、ここでは代表的なものを 2 つだけ紹介します。

- http://documentation.openoffice.org/Samples_Templates/index.html
OpenOffice.org Documentation プロジェクトのもの (英語)
- 素材 OOo
日本語のテンプレート/クリップアート集。
(サーバのダウンにより今ダウンロード不可です。近いうちにダウンロード可能にします。)

他にも、StarSuite に付属しているテンプレートを低価格で売られていたりする。

3 標準テンプレート

3.1 標準テンプレートとは

OpenOffice.org では、メニューから [ファイル] - [新規作成] - [文書ドキュメント] などを選択したり、あるいはショートカットキー [Ctrl + N] を押したときに、新しい何も入力されていないドキュメントが作成されます。このときに使われるテンプレートが標準テンプレートです。つまり、標準テンプレートとして設定したテンプレートは、わざわざそのテンプレートを選ばなくても、新規作成をするだけでそのテンプレートが使われるようになります。一番よく使うテンプレートを標準テンプレートとして設定しておくとう便利です。

ちなみに、標準テンプレートは Writer、Calc、Impress、Draw の各アプリケーションごとに 1 つずつだけ設定することができます。

3.2 標準テンプレートを設定する

1. あらかじめテンプレートはインポートしておきます。
2. メニューから [ファイル] - [新規作成] - [テンプレートとドキュメント] を選択します。「テンプレートとドキュメント」ダイアログが表示されます。
3. 「テンプレートとドキュメント」ダイアログにて、[管理] ボタンをクリックします。「ドキュメントテンプレートの管理」ダイアログが表示されます。

4. 左側のリストの中から標準テンプレートに設定するテンプレートを右クリックします。
※フォルダの中を表示するには、そのフォルダをダブルクリックします。
5. [標準テンプレートとして設定] を選択します。(図 6)

これで標準テンプレートの設定が完了です。試しに新規作成をしてみると、正しく標準テンプレートが設定されたかどうかを確認することができます。

当然のことながら、Writer で作成したテンプレートは Writer の標準テンプレートとして設定され、Calc で作成したテンプレートは Calc の標準テンプレートとして設定されます。

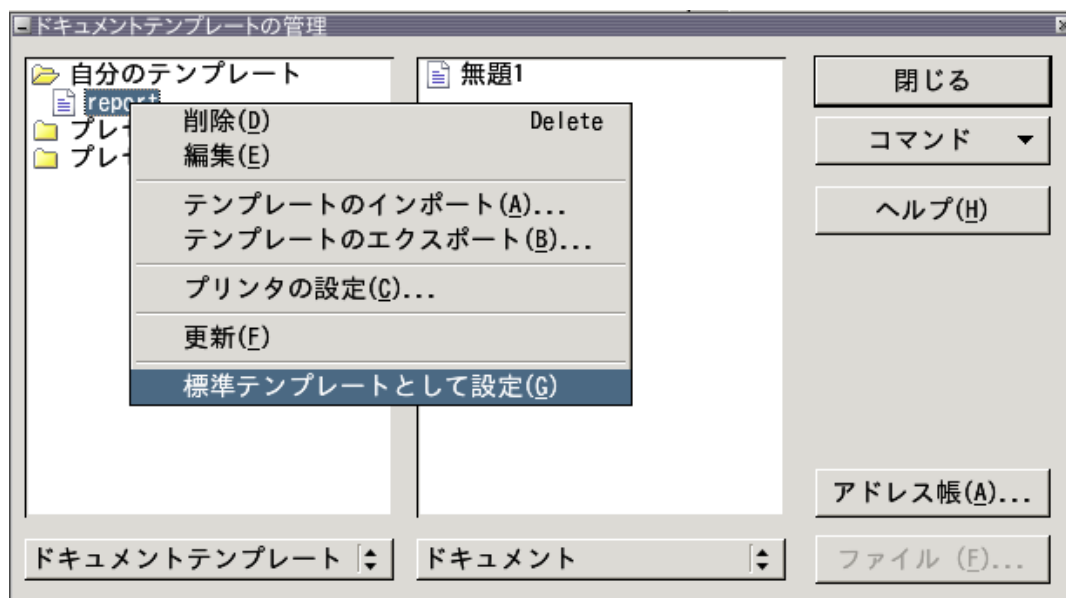


図 6: 標準テンプレートの設定

3.3 標準テンプレートを元に戻す

標準テンプレートをインストール時の状態に戻したい場合には、

1. メニューから [ファイル] – [新規作成] – [テンプレートとドキュメント] を選択します。「テンプレートとドキュメント」ダイアログが表示されます。
2. 「テンプレートとドキュメント」ダイアログにて、[管理] ボタンをクリックします。「ドキュメントテンプレートの管理」ダイアログが表示されます。
3. [コマンド] ボタンをクリックします。メニューが表示されます。
4. Writer の標準テンプレートをインストール時の状態に戻したい場合には、[標準テンプレートを元に戻す] – [文書ドキュメント] を選択します。(図 7)

これで、Writer の標準テンプレートはインストール時のものになります。他のアプリケーションについても同様にして標準テンプレートを元に戻すことができます。

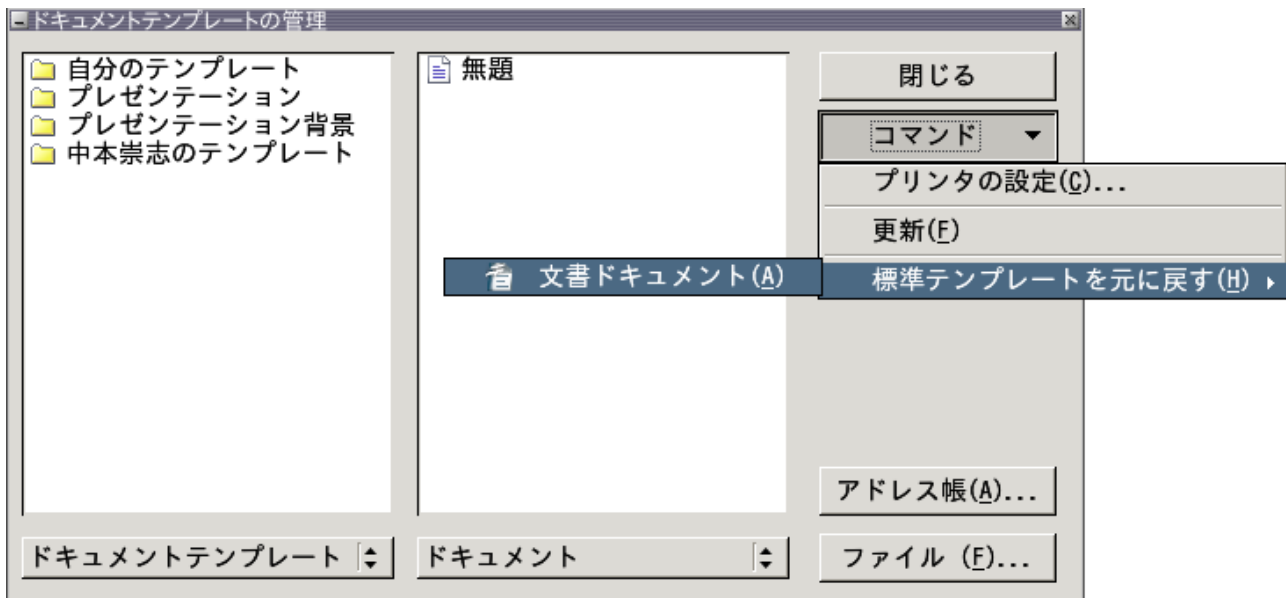


図 7: 標準テンプレートを元に戻す

3.4 標準テンプレートの有効活用

Linux においては標準のフォントというものがありません。ディストリビューションごとに異なるか、あるいはディストリビューションによってはユーザが自分で日本語を扱える TrueType フォントをインストールしなければならないかもしれません。

すると、OpenOffice.org でデフォルトで使用されるフォントというのがそのディストリビューションで標準のものではなかったり、あるいは想定したフォントとは違うフォントがデフォルトで使われているかもしれません。そんなときは、フォントの設定のみを変更した真っ白なテンプレートを標準テンプレートとして設定するとよいでしょう。

また、その他にも

- プリンタにあわせてページの余白などの設定をすませたテンプレート
- あらかじめ全体に外枠を設定しておいた Calc のテンプレート

といったものを標準テンプレートに設定しておくとも便利かもしれません。

4 テンプレート拡張機能

4.1 OpenOffice.org の拡張機能

OpenOffice.org は以前から、外部アドインをインストールすることによって OpenOffice.org 自身の機能を拡張する機能がありました。OpenOffice.org 2.0 からはパッケージマネージャというツールが付属しているので、これを使えば簡単に外部アドオンをインストールしたりアンインストールしたりすることができます。OpenOffice.org 2.0.4 からこの機能が刷新され、テンプレートもこの機能を使ってインストールができるようになりました。

また、OpenOffice.org 2.1 よりも前のバージョンでは外部アドオンのことを UI 表記では「パッケージ」(英語では、Package)として表示していましたが、OpenOffice.org 2.1 ではこれらを「拡張機能」(英語では、Extension)として表記するようになりました。

今のところあまり多くの拡張機能は出回っていませんが、そのうちいろんな拡張機能ができるようになると思います。以下の Wiki は英語ですが、

http://wiki.services.openoffice.org/wiki/Extensions_repository

から様々な拡張機能をダウンロードすることが可能です。

ちなみに、拡張機能ファイルの拡張子は“oxt”です。

4.2 テンプレート拡張機能とは

日本語での表記方法はまだ定まっていない(っていうか、そもそも誰がそれを決めるのか?俺か?)のですが、複数のテンプレートを1つにまとめたファイルのことを「テンプレート拡張機能」とこの資料内では表記することにします。機能を表しているのではなくて、複数のテンプレートを1つにまとめたファイルのことを指します。日本語的には「テンプレートパッケージ」と言った方が分かりやすいのですが、ここではUI表記の変更にもなって「テンプレート拡張機能」と呼ぶことにします。Firefoxで“Extension”という単語に慣れている人にとっては“Template Extension”と言った方が分かりやすいかもしれません。

テンプレート拡張機能には、複数のテンプレートをまとめておくことができます。また、OpenOffice.orgでは拡張機能単位で管理することができます。つまり、テンプレート拡張機能を使うことによって、少ない手順で複数のテンプレートをまとめてインストールしたりアンインストールすることができるようになります。

今のところテンプレート拡張機能はほとんど出回っていませんが、これもまたそのうち出回るようになると思います。

- http://bd.tank.jp/openoffice/impress_templates/index.html
には、私が個人的に配布している日本語のテンプレートがあります。
- <http://bd.tank.jp/openoffice/extension/sozaiooo.html>
素材OOo拡張機能です。豊富な数の日本語のテンプレートその他、クリップアートも収録されています。
- http://wiki.services.openoffice.org/wiki/Extensions_repository
には“[German template collection](#)”というのがあります。って、そんなもん使わんか... だって、他にテンプレート拡張機能が見つからないんだもん orz

4.3 拡張機能のインストール方法

拡張機能(拡張子がoxtのファイル)はあらかじめダウンロードしてあるものとします。

1. [ツール] - [拡張機能マネージャー] を選択します。「拡張機能マネージャー」ダイアログが表示されます。(図8)
2. リストの中から「マイ拡張機能」を選択し、[追加] ボタンをクリックします。「拡張機能の追加」というファイルを選択するダイアログが表示されます。
3. 拡張機能(拡張子がoxtのファイル)を選択し、[開く] ボタンをクリックします。プログレスバーが表示され、インストールが進行していく様子が確認できます。
4. 場合によっては、ここでライセンス文に同意するよう求めるダイアログが表示されます。
5. インストールが完了するとプログレスバーは消え、「拡張機能マネージャー」ダイアログが表示されます。

これで拡張機能がインストールされます。「マイ拡張機能」の左側の[+]をクリックすると、拡張機能一覧が表示されます。インストールした拡張機能のステータスが「有効」と表示されていれば、インストールは成功です。

テンプレート拡張機能をインストールした場合は「テンプレートとドキュメント」ダイアログでもインストールが完了したことが確認できます。

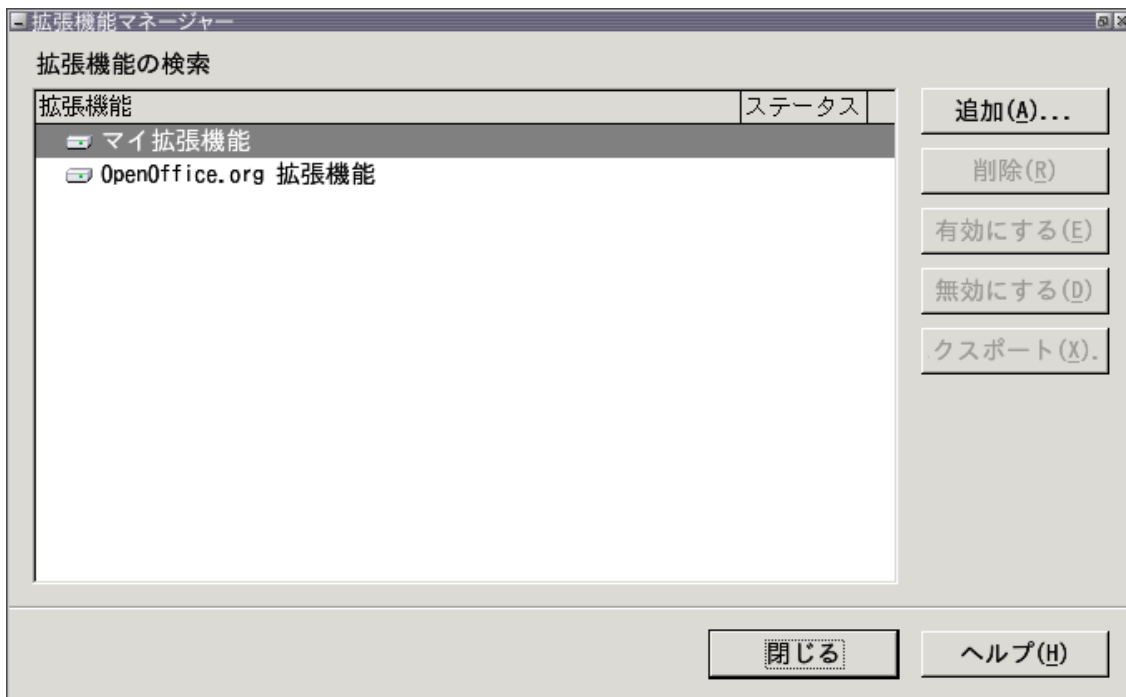


図 8: 「拡張機能マネージャー」ダイアログ

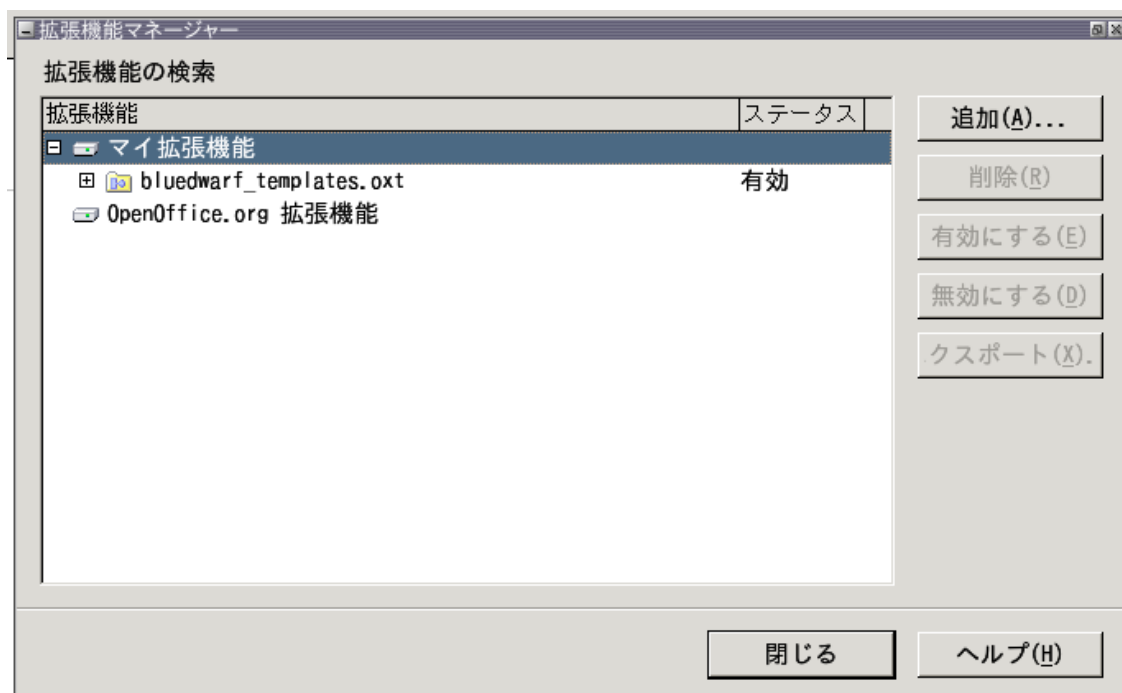


図 9: 拡張機能がインストールされたところ

4.4 拡張機能のアンインストール

1. [ツール] - [拡張機能マネージャー] を選択します。「拡張機能マネージャー」ダイアログが表示されます。
2. リストの中からアンインストールしたい拡張機能を選択し、[削除] ボタンをクリックします。プログレスバーが表示され、しばらくすると削除が完了します。
 ※使用中の拡張機能をアンインストールされては困るので、拡張機能マネージャーで削除をした拡張機能は、OpenOffice.org を終了するまで完全にはアンインストールされま

せん。

4.5 テンプレート拡張機能の作り方

自分で使う複数のテンプレートをテンプレート拡張機能としてまとめておくと、別のマシンでも同じテンプレートを使いたいというときに便利です。また、ある組織内で同じテンプレートを使いたいという場合にもテンプレート拡張機能としてまとめておくと、それらのテンプレートの配布と導入が容易になります。

テンプレート拡張機能は、単に2つのXMLファイルと複数のテンプレートファイルをzip圧縮しただけのものです。特殊なツールなどを使う必要もなく、簡単に作ることができるので、

http://bd.tank.jp/openoffice/extension/template_extension.html

を参考にぜひ自分でテンプレート拡張機能を作ってみてください。

5 テンプレートのより進んだ使い方

5.1 より便利なテンプレートに関する機能

今日はテンプレートの基本的な説明をするので時間がいっぱいになると思います。テンプレートは基本さえ押さえておけばよいのですが、さらにテンプレートに関するより便利な機能

- スライドマスター (Impress)
- シナリオタイプテンプレート (Impress)
- ウィザードを使ったテンプレート作成

が、「OpenOffice.org 2.0 オフィシャルユーザズガイド」(毎日コミュニケーションズ)のChapter 5「Impress(プレゼンテーションツール)」とChapter 11「テンプレート」に紹介されています。興味のある方はそちらを読んでください。

5.2 スタイルと書式

今日はあえて「スタイルと書式」という機能についてふれませんでした。これはCSS(Cascading Style Sheets)みたいなもので、非常に強力な機能なのですが、これについての説明はとても大変で、初心者を相手にする場合には基本を説明するだけで30分ぐらいかかりそうなので、今日はふれないでおきました。またの機会にでも「『スタイルと書式』を使いこなす」というテーマでやろうかと考えています。

Wordにも同等の機能があるのですが、巻の解説書ではこの機能については触れることはあまりありません。OpenOffice.orgについても同様ですが、「オープンガイドブック OpenOffice.org 2.0」(グッデイ)のp.79～86とp.169～170に少しだけ書いてあるので、興味のある方はそちらを参照してください。

6 参考文献

- OpenOffice.org 日本ユーザ会「OpenOffice.org 2.0 オフィシャルユーザズガイド」(毎日コミュニケーションズ)
- 可知豊他「オープンガイドブック OpenOffice.org 2.0」(グッデイ)
 - <http://oosupport.good-day.net/ja/documents/manual/#openguidebook-OOo2.0>にて、本書の全文がクリエイティブコモンズ「帰属 2.1 日本」ライセンスのもとでダウンロード可能です。PDF形式です。
- Jürgen Schmidt

”OpenOffice.org extensions infrastructure: what is, what it can, what is planned” (OpenOffice.org Conference 2006)
http://marketing.openoffice.org/ooocon2006/presentations/wednesday_d10.pdf

- “Non-code extensions” (OpenOffice.org Wiki)
http://wiki.services.openoffice.org/wiki/Non-code_extensions